

市民病院だより

スギ花粉症の舌下免疫療法

小児科医師 安藤 万里子

スギ花粉症とは？

スギ花粉症は、スギ花粉が原因となって起こるアレルギー疾患です。主にくしゃみ、鼻水、目のかゆみなどのつらい症状を伴い、イライラ感、思考力の低下、睡眠障害、外出の支障などさまざまな場面で影響を及ぼすことが分かっています。

アンケートの結果、日本人の4人に1人がスギ花粉症であることが分かりました。

治療方法

スギ花粉を避けることが基本となりますが、日常生活の中ではなかなか難しいことです。

そのため、必要に応じて薬物療法やアレルギー免疫療法、手術療法などを行います。

今回お話しする**舌下免疫療法**

はアレルギー免疫療法に分類されます。

治療前に、アレルギー症状がスギ花粉によるものなのかを確かめる必要があります。

そのため、問診や血液検査を行います。

舌下免疫療法とは？

アレルギーの原因であるアレルギーを少量から投与することで体を慣らし、症状を和らげる治療法です。

この治療法はアレルギー症状を治したり、長期にわたり症状を抑える可能性があります。

治療期間は3～5年と長期を要し、全ての患者さんに効果が出るわけではありません。

アレルギーを投与することから、局所や全身のアレルギー反応が起こる恐れがあり、まれに重篤な症状が出る恐れがあります。

実際の服用

スギ花粉症の舌下免疫療法は今のところ、スギ花粉症と診断された12歳以上の患者さんが治療を受けることができます。

1日1回、少量から服用を始め、2週間は徐々に増量し、その後は決まった量を数年にわたり継続して服用します。

初めての服用は、スギ花粉が飛散しない時期（6月～12月）に医師の監督のもとに行う必要があります。

副作用

主な副作用として、口の中の腫れや口内炎、舌の下の腫れ、のどや耳のかゆみなどがあります。重大な副作用として、ごくまれに（1億人に1人）ショック状態となる可能性があります。注意を要します。

舌下免疫療法をご希望の方へ

治療を受ける前の心構えとして、次のことをご確認ください。

①スギ花粉が飛散していない時期を含め、長期間の治療を受けることとなります。

②治療薬の服用を毎日継続します。

③少なくとも1か月に1度、受診します。

④全ての患者さんに効果が出るわけではありません。

⑤効果があつて終了した場合でも、その後の効果が弱くなる可能性があります。

⑥アナフィラキシーなどの副作用が起こる恐れがあります。

治療の効果としては、くしゃみ、鼻水・鼻づまり、目のかゆみ、涙目などの症状の改善や、毎年アレルギー治療薬を内服される方は薬を減らすことが期待できます。

以上を踏まえて、舌下免疫療法をご希望されるスギ花粉症の方は、医師（スギ花粉症の治療薬を処方可能な医師）にご相談ください。



お知らせ



当院小児科で、スギ花粉症の舌下免疫療法（対象は12歳以上）を行っております。また、小児科一般診療、予防接種などもお気軽にご来院ください。

木曜日の夕方診療（18時30分まで受付）もご利用ください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>